



あいかわ



農業委員会だより

第84号

令和6年1月15日発行

発行：愛川町農業委員会

編集：あいかわ農業委員会だより

編集委員会

愛川町角田251-1

電話046-285-2111(代)



自然農法で育った採れたてのカブ各種（三増：わんぱく自然農園たむそん）

新年を迎えて

農業委員会会長 落合 貢

新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は全国的に夏から秋にかけて前例のない記録的な猛暑に見舞われ、農作物の品質低下や収量減少など農業経営に大きな影響が発生した一年ではありましたが、本誌でもご紹介しましたとおり、本町では若き農園継承者の活躍や、経営も軌道に乗ったハウス栽培営農者たちの施設拡大など、明るい話題も多かった一年でありました。

希望に満ちた新たな年を迎え、我々、農業委員会委員並びに農地利用最適化推進委員は、本年も充実した農地利用の最適化を推進するため、国・県をはじめ、何より地域で活躍されております全ての農業者の皆様から、ご理解とご協力をいただきます。実りある地域農業を推し進める所存であります。

まだまだ寒い日が続きますが、健康には十分にご留意いただき、皆様が今年も充実した一年を送れますよう祈念いたします。新年のあいさつとさせていただきます。

- 紹介 2面 農業委員会のごき・令和5年度に行った活動内容
- 3面 地域計画の策定・ちよつとひと息
- 紙面 4面 まちかどりぼーと・県農業会議会長表彰受賞・農地募集

農業委員会のうごき

農地等利用最適化の推進に関する町への意見・要望

農業委員会は、農地等利用最適化の推進及び農林業施策・予算に関する意見・要望を町に行っております。本年度も令和6年度に向け、町への意見・要望を提出しました。主なものは次のとおりです。

- 1 基本農政の確立・推進
 - ◆ 農業振興地域整備計画の改定
- 2 畜産経営環境保全対策
 - ◆ 畜産経営上発生する臭気及び汚物関連浮遊物に対するきめ細やかな対応
- 3 有害鳥獣対策
 - ◆ 駆除を含めた有害鳥獣対策の継続実施、地域住民とのさらなる連携強化や対策の周知、罠の購入費や狩猟免許の取得費用の助成
 - ◆ 有害鳥獣対策の観点からの遊休荒廃農地のさらなる対策
 - ◆ 農地への有害鳥獣の接近及び侵入防止対策
- 4 優良農地・土壌保全対策
 - ◆ 農地法関連事務提要や許可基準等の見直しの実施



小野澤町長へ要望書を提出

令和5年度は勉強会・研修会を充実！

今年度の活動内容は毎月の総会のほかに、コロナ禍により自粛していました勉強会や研修視察を実施しました。これからも継続して勉強会等を充実させていきます。



自然農法勉強会



青パパイヤ研修視察

5月	農地利用最適化の推進に関する県への意見・要望の提出
8月	自然農法勉強会
	自然農法による耕作をする人が増えていることから、自然農法を行っている田村委員の農地において、勉強会を開催しました。
9月	青パパイヤ研修視察
	はだの都市農業支援センターで、秦野市が特産品化に取り組んでいる青パパイヤについての研修視察を行いました。
10月	農地利用最適化の推進に関する町への意見・要望の提出
11月	神奈川県農業委員会活動推進大会に参加

地域計画（目標地図）を策定します！意向調査にご協力を！

町では、三増地区と角田地区の一部を対象地区として、農業の将来のあり方などを明確化した「人・農地プラン」を公表しておりますが、農業経営基盤強化促進法等の改正一括法が成立したことに伴い、名称が「地域計画」に変わりました。

このことから、対象地区について、地域農業の将来のあり方に対する計画や、10年後の一筆ごとの営農予定者を示した「地域計画（目標地図）」を令和7年3月末までに策定することになりました。

策定にあたり、対象地区の農地利用についての意向調査を実施し、10年後の農地の集積・集約化の方向性を確認するための素案を作成し、地域の農業者の皆様と協議を行っていきます。

意向調査につきましては、令和6年度に実施を予定しておりますので、対象地区のみなさまにおかれましては、調査のご協力をいただきますようお願いいたします。



ちょっとひと息

「田んぼのついで」から「田んぼなんか」 Y・B君

愛川町は中津川と相模川の豊かな水に恵まれ、稲作が盛んな土地です。私も小学生の頃から、田植えや稲刈りの手伝いに駆り出されました。子供の私には、「楽」な仕事ではなかったのですが、中学生になると言い訳を作ってサボっていました。

しかし、二十代半ば七年ぶりに愛川町に戻り、農業関連の仕事をしていることもあり、自分から進んで田んぼに向かうようになりました。年上の方々から、春は苗の植え付けの深さから秋の刈取時期の見極め方まで、いろいろ教えてもらいました。そんな折に「田んぼぐらい作れるようになれ」としばしば言われました。五十代になった今では、種まきに始まり秋の収穫時期まで試行錯誤しながら「楽」しんで耕作しています。

愛川町や近隣市町村では、年々離農者が増え、耕作を辞める農家が増えていきます。作りたくても高齢のため諦めたり、定年まで耕作経験がなく作らないなど、様々なようです。田んぼを所有していても関心がなく、他人事のような人も散見します。

曰く、「なんで田んぼなんか作ってんの？」

僅か三十年余りでコメ作りは様変わりしてしまっただように思います。気候変動が米も含めた食糧供給に大きな影響を及ぼすと言われます。農地を所有している方々の認識の「変動」が将来どうなっていくのか気がかりですが、農地の集積も徐々に進み、新規就農者・新規参入の企業も増え始め、自然農法による栽培も確立されている愛川町には、「明るい未来」が訪れることを祈っています。

私は今年も極力減農薬にチャレンジします。



まちかどいぽーと

新たなお茶事業の担い手（株式会社マイファーム）

「自産自消のできる社会」を理念に掲げる株式会社マイファーム（京都市）の新規お茶事業を紹介いたします。

株式会社マイファームは、令和5年12月にJA県央愛川所有の茶工場の譲渡を受け、愛川町における茶の生産・加工・販売事業を開始することを発表しました。

同社は体験農園事業・農業教育事業・流通販売事業・農業コンサルティング・農業関連サービス・農作物生産等の多岐にわたる事業を通して農業界から社会課題の解決を目指す「農業ソーシャルベンチャー企業」として、11月に、日本初の上場をしています。

日本が誇る代表的な特産物であるお茶の生産に乗り出し、ブランドを確立させ、世界中に日本茶の美味しさ・すばらしさを認知してもらう活動を行い、日本茶の地位・価格の向上を目指すとのことです。

これからのご活躍を期待しております。



熊坂博さんが神奈川県農業会議会長表彰を受賞されました

令和5年11月10日に開催された令和5年度神奈川県農業委員会活動推進大会において、熊坂博前会長が長年（3期9年）にわたり農業委員会会長の職を務めた功績が評価され、「永年在任農業委員会会長表彰」を受賞されました。

委員一同、心より感謝とお祝いを申し上げます。

おめでとうございます。



農地募集PR

農地の管理にお困りではないですか？

ご利用されていない農地や、今後の耕作予定がない農地は、新規就農者やあいかわ準農家が大切に耕作いたしますので、貸出にご協力ください。

お問い合わせ先は 農業委員会事務局

電話046-285-2111内線3542

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	編集委員
萩原	齋藤	諏訪部	加藤	落合	五月女	薄	
英治	増雄	衛人	一男	貢	智一	秀一	